

かぶオプ 取引のコツ



20か条



“かぶオプ”ってご存知ですか？

“かぶオプ”は大阪取引所に上場している有価証券オプションの愛称です。

有価証券オプションは世界各国で活発に取引されている商品ですが、日本でも投資家の方々に個別株式のヘッジ手段を提供し、多様化する投資ニーズに応えるため、大阪取引所は200銘柄を超える株式等を対象に有価証券オプションの市場を提供しています。

また、かぶオプには、マーケットメイカー制度等を導入しており、投資家の皆様が取引を行いやすい環境を整備するなど、インフラ面・制度面での改革も進めています。

ますます注目される“かぶオプ”について、本書は「オプション取引の仕組みがわからない」、「オプション取引をしたことがない」といった初心者の方々や、オプション取引に馴染みのある中級者の方々が、かぶオプを取引する際に留意して頂きたい点などをまとめました。

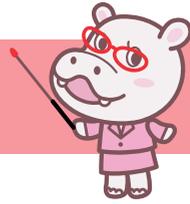
取引の中で生じる疑問を解決できるツールとして、読者の皆様のかぶオプについての理解の一助となれば幸いです。

かぶオプション取引のコツ 20か条

初級

- 1 オプション取引のおさらい①
～コールオプションの買い方で損益図を書いてみましょう～ 04
- 2 オプション取引のおさらい②
～真正価値と時間価値について理解しましょう～ 06
- 3 基本はオプション買い戦略。
レバレッジ・損失限定的なオプションの特徴を活かしましょう。 08
- 4 なんにも満期までオプションを持たなくて良いのです。
デルタを使ってオプションの価格変動をうまく把握し、自分の
タイミングで利益確定をしましょう。 09
- 5 オプション損益図、その変化の様子をイメージしてみましょう! 10
- 6 オプションの時間減衰(セータ)を把握し、
ときには味方につけましょう。 11
- 7 オプション価格チェックはタイミングを見計らいましょう。 12
- 8 取引コストが低い銘柄を取引しましょう。
～マーケットメイカーが気配を提示している銘柄に注目しましょう～ 13
- 9 オプションの流動性をチェックするのにオプションの出来高の
多さにそれほどこだわる必要はありません。 14
- 10 最大損失を考慮して適切な取引サイズを心がけましょう。 15





中級

11 「～たら、～れば」の相場観を用いた利回り向上戦略を通して、オプション売り戦略の本質を理解しましょう。 16

12 ターゲットバイ(プットオプション売り)戦略は、株価が急落した場合に損失を被る、というリスクを受け入れたもとの、大きな高利回りが期待できる投資手法であることを理解、活用しましょう。 18

13 コールオプション売り戦略を用いてあなたの塩漬け銘柄でも投資利回り向上が目指せます。 19

14 オプションの買い(レバレッジ戦略)と売り(利回り戦略)をうまく使い分けましょう。 20

上級

15 「上か下か分からないけれどとにかく動きそうだ」と思ったときは「ストラドル買い」戦略を検討しましょう。 22

16 逆に「上にも下にも暫く動かなそう」ならば「ストラドル売り」戦略を検討しましょう。満期時点での損益分岐点がどこかも配慮すると良いでしょう。 23

17 株が動くと思っていてもオプションを買わない方が良いときを把握しましょう:オプション価格の簡易チェック法 24

18 「デルタ」に着目してあなたのオプション取引の勝率を把握しましょう。 25

全体

19 「かぶオプチャート」を用いて、実際に取引する前に研究しましょう。 26

20 かぶオプに関する情報収集に努めましょう。 28

1

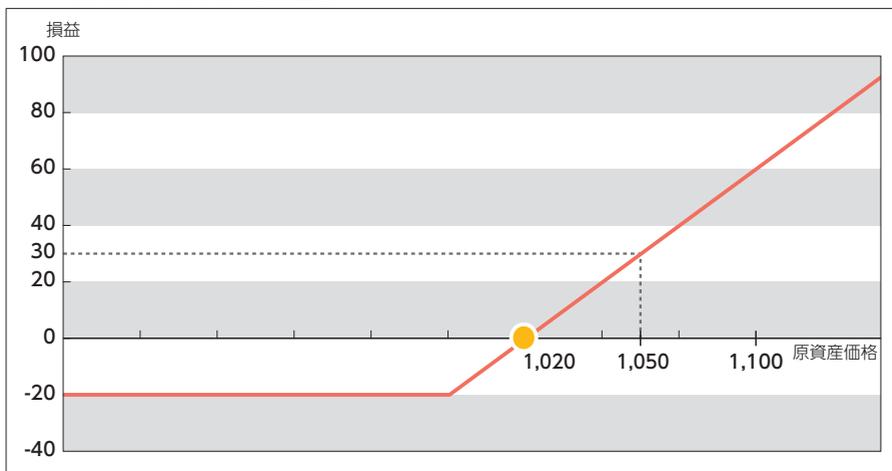
オプション取引のおさらい① コールオプションの買い方で 損益図を書いてみましょう。

かぶオプの取引を開始するにあたり、まず初めに親しむ必要があるのは、コールオプションやプットオプションの損益の定義です。オプションの価値が株価の変動によってどのように変わるかをイメージできるようになりましょう。

株価の変動にともなったオプションの価値の変化の様子を描いたものを“オプションの損益図”といいます。

オプションの損益図について大事なポイントは2つ。1つ目は満期時点のオプション損益図をイメージできること。2つ目は満期より前の時点でのオプションの損益図をイメージできること。

■ コールオプション買い方損益図



※手数料、税金等は考慮していません。

では、まずは満期時点の損益図をおさらいします。満期時点の損益図は、上図のとおり、横軸に「原資産価格」、縦軸に「(そのオプション取引を行った人の)損益」を書きます。例えば、ある投資家が、権利行使価格が1,000円のかぶオプ・コールオプションを購入するためにオプション料20円を支払いました。この時点での損益は▲20円という状態です。

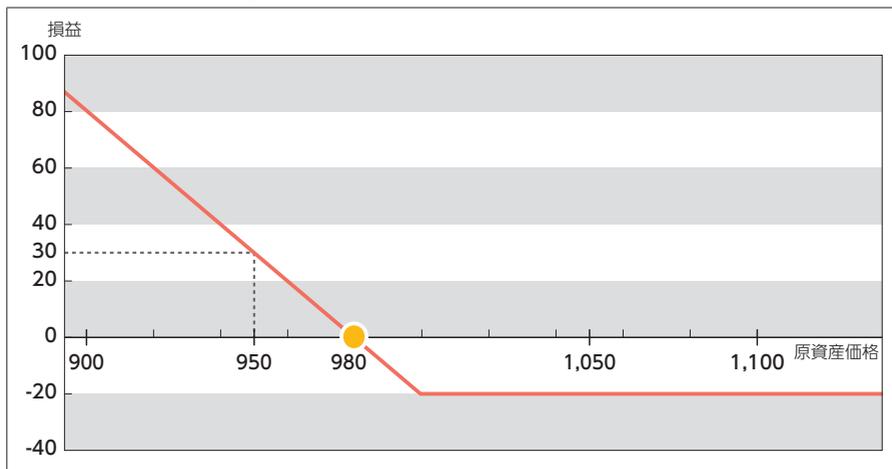


その後、株券の価格が1,050円になり権利行使日を迎えたとします。この場合、権利行使を行い、1,050円の価値のある株券を1,000円で購入し、直ちに市場価格である1,050円で売却すれば、その差額は50円です。ただし、取引成立時に20円を支払っていますので、 $50円 - 20円 = 30円$ が利益となります。すなわち、権利行使した場合、「権利行使から得た株券の利益 - 最初に支払ったオプション料」が利益ということになります。

反対に株券の価格が950円となって権利行使日を迎えたら、現物市場で買った方が得なので、権利行使をしません。結果として、取引成立時に支払ったオプション料20円が損失となります。

原資産の価格が1,100円となった場合、また、900円となった場合など価格ごとに損益の額をとって線で結ぶと損益図が出来上がります。

■ プットオプション買い方損益図



※手数料、税金等は考慮していません。



2

オプション取引のおさらい②

真正価格と時間価値について理解しましょう。

次に、満期より前の時点でのオプションの損益図についても、復習しておきましょう。一般にオプション価格は、真正価値と時間価値を合算したものと考えられています。

● 真正価値

現時点で権利行使を行った場合にどのくらいの利益を得られるかを表します。他に「本源的価値」「本質的価値」といった表現もされます。

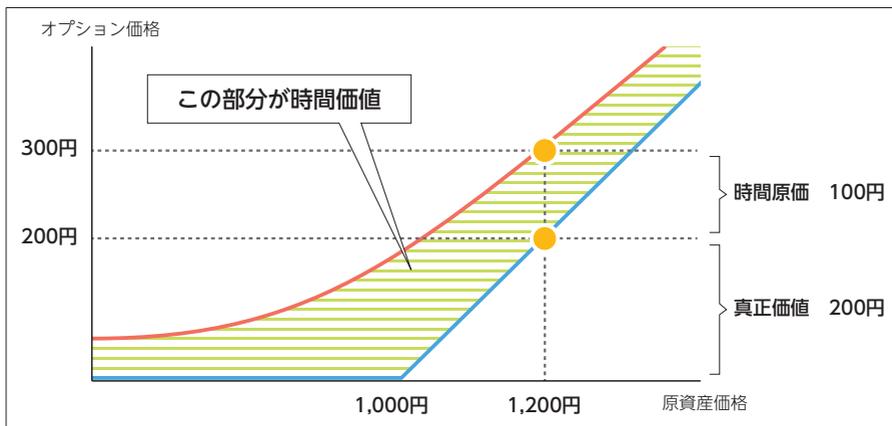
● 時間価値

今後どれくらいの利益を得られる可能性があるかを表します。

下図を用いて具体的に言いますと、原資産の価格が1,200円の時は、権利行使価格1,000円のコールオプション価格は300円となりますが、このうち100円が時間価値ということになります。

コールオプションの損益図は下図のとおりです。

■ コールオプションの理論価格のイメージ



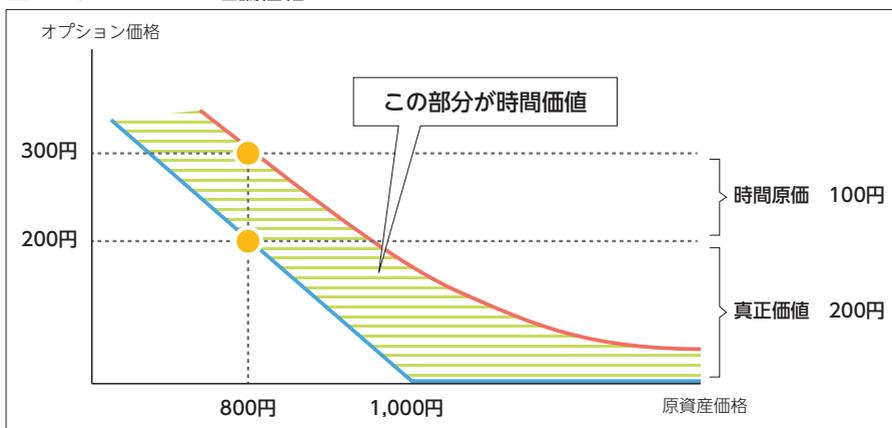
※手数料、税金等は考慮していません。



また、プットオプションの損益図も同様の条件でおさらいしておきましょう。

下図を用いて具体的に言いますと、原資産の価格が800円の時、権利行使価格1,000円のプットオプション価格は300円となりますが、このうち100円が時間価値ということになります。

■ プットオプションの理論価格のイメージ



※手数料、税金等は考慮しておりません。

3

基本はオプション買い戦略。 レバレッジ・損失限定的なオプションの特徴を 活かしましょう。

どのような時にコールオプションを買うのが有効かを把握しましょう。

- あなたが注目している銘柄の株価が下落していて、そろそろ反転(株価上昇)しても良いと思われるとき。
- 株価が急落したのでリスクは高いが大きな株価反転(株価上昇)にかけてみたいとき。
- 株が上がると思っていますが、もしも更に下落したとしても投資損失を限定的にしたとき。
- 数日以内に決算発表などのニュースが出てくると思われ、そのときの大きな株価上昇にかけて見たいと考えるとき。

オプションは、少額の元手から取引可能で相場感が当たったときには大きな投資収益(リターン%)が得られる(レバレッジが利く)のが特徴です。また、同様にレバレッジをかけた取引である信用取引と違って、当初に支払ったオプション料以上の損失が出ることはありません。すなわち信用取引と違って追証がないのも特徴です。

プットオプションの買い戦略は、上記コールオプションの買いとは逆に、株価の下落で収益を上げることのできる戦略です。



4

なにも満期までオプションを持たなくて良いのです。
デルタを使ってオプションの価格変動をうまく把握し、
自分のタイミングで利益確定をしましょう。

オプションは元来短期的な収益を上げることに利用可能な商品です。オプションを満期まで保有するという固定概念を捨てて自分のタイミングで取引しましょう。相場の方向が当たって収益が出たらポジションの上手い手仕舞いのタイミングを考えましょう。必要以上に長い間オプションを保有していると、第3条に述べる時間減衰によりオプションの価値が減ってしまいます。

オプションの取引を考えるときに、オプションの「デルタ」と呼ばれる指標に着目すると良いでしょう。**デルタは原資産株価が1円動いたときに、オプション価値がいくら動くかを%単位で示した指標**であり、証券会社の取引アプリケーションや様々なWEBサイトで取引しようと思うオプションのデルタを確認できます。

デルタを用いて原資産の株価の動きに応じたオプションの短期的な価格の変化を推測し、投資の短期的な費用対効果を把握しておくことも重要です(第5条も参照)。

短い期間であれば以下のような式が成立します。

オプション価格の変化の簡易把握法

オプション
価格

=

元の価格の
オプションの価格

+

取引してからの
株価の変化(円)

×

デルタ(%)

(オプションのインプライドボラティリティに変化がなく、時間減衰もないほど短い期間を想定)

参照 JPX オプション価格情報サイトより、デルタの情報*をご確認いただけます。

* 20分遅延情報



① JPXホームページより「オプション」をクリックします。
<http://www.jpx.co.jp/>

※上記画面右下赤枠部分ご参照下さい。



② 有価証券オプションタブをクリックし個別銘柄をクリックします。

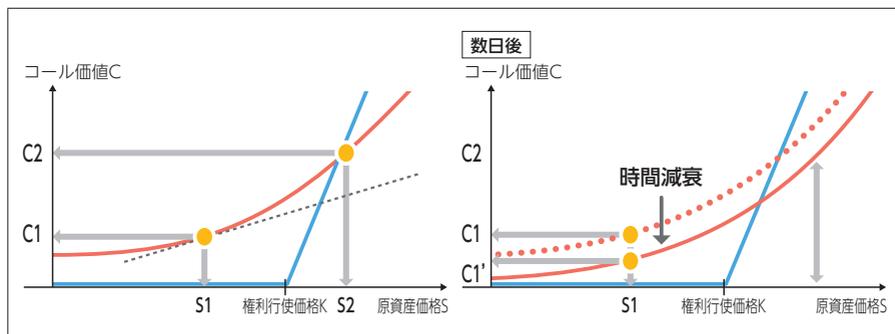


③ デルタの情報をご確認いただけます。



5

オプション損益図、その変化の様子をイメージ してみましょう!



● レバレッジ特性(下に凸の曲線となる)

上図にコールオプションの損益曲線を示します。

図を見ると、コールオプションの価値は株価の動き($S1 \Rightarrow S2$)に応じて大きく変化($C1 \Rightarrow C2$)する、非常にレバレッジの効く商品であることが分かります。

● 「デルタ」(%)

=接線の傾き

=株価1の変化に対するオプション価値の変化分。ブラックショールズの理論を用いてシステムが計算してくれている実務上便利な指標。

● 時間価値の減衰

一方、満期が近くなるについて、オプションの価値を示す曲線は、本質的価値を示す折れ線に近づきます。これを時間価値の減衰($C1 \Rightarrow C1'$)と呼びます。



6

オプションの時間減衰(セータ)を把握し、 ときには味方につけましょう。

オプション買いの戦略には、損失限定的、レバレッジといった長所がある反面、時間が経つにつれてオプションの価値が減衰していく特徴があります。翌日までオプションを保有し続けたらどれ位オプション価値が減衰してしまうのか(セータ*と呼びます。)を把握し、その日のうちにオプションを手仕舞うのか、翌日に持ち越すのかを判断することも肝要です。

参照 JPX オプション価格情報サイトより、セータの情報*をご確認いただけます。

* 20分遅延情報



① JPXホームページより「オプション」をクリックします。

<http://www.jpx.co.jp/>

※上記画面右下赤枠部分ご参照下さい。



② 有価証券オプションタブをクリックし個別銘柄をクリックします。



③ セータの情報をご確認いただけます。

特に**金曜日には週末の間の時間減衰が大きくなってしまいますので**、オプションの買い建玉を保有している場合には、週末を超えて建玉を保有し続けるかどうかを検討しましょう。

一方で、時間減衰の特徴を味方につける取引(オプション売り戦略)や、ほぼ時間減衰に直面しない取引手法(=デイトレーディング)を理解して、オプション取引の真髄をフル活用することも考えられます(後述)。



7

オプション価格チェックは タイミングを見計らいましょう。

かぶオプは朝9時の寄付き時点から流動性があるわけではなく、通常現物株や日経225オプションの市況が落ち着く、寄付きから15分後くらいから流動性が上がり、取引コストが低くなる傾向があります。

現物株が寄り付いてから暫くしてから相場をチェックしましょう。前場であれば9時15分からが目安になると思われます。午後はやや早めに落ち着くので12時35分くらいからかぶオプ相場をチェックしましょう。



8

取引コストが低い銘柄を取引しましょう。 マーケットメイカーが気配を提示している 銘柄に注目しましょう。

かぶオプ市場は銘柄数が200銘柄(原資産ベース)を越えており、どの銘柄を取引するか選ぶことも一苦労ですが、取引コストが低い銘柄から選ぶという手法があります。

具体的には、かぶオプ市場にはマーケットメイカーと呼ばれる継続的に売り注文・買い注文を提示している業者がいます。そのマーケットメイカーは下記の表のグループ1や2の銘柄を中心に売り買いの注文を出しているため銘柄選びの参考にしましょう。グループ1の方が、通常は取引コストが低い傾向があります。

■ グループ1 (5銘柄)

コード	原資産名	コード	原資産名	コード	原資産名
1306	NEXT FUNDS TOPIX 連動型上場投信	1321	NEXT FUNDS 日経225連動型上場投信	1343	NEXT FUNDS 東証REIT 指数連動型上場投信
1540	純金上場信託(現物国内保管型)	1671	WTI原油価格連動型上場投信		

■ グループ2 (10銘柄)

コード	原資産名	コード	原資産名	コード	原資産名
2914	日本たばこ産業	6178	日本郵政	6301	小松製作所
6758	ソニーグループ	7203	トヨタ自動車	8031	三井物産
8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8411	みずほフィナンシャルグループ	9432	日本電信電話
9984	ソフトバンクグループ				

なお、上記のかぶオプ銘柄以外にも気配が出ており、取引しやすい銘柄があります。どの銘柄に気配が出ているかホームページに一覧がありますので「有価証券オプション銘柄一覧」を検索し、併せて参考にしましょう。



9

オプションの流動性をチェックするのに オプションの出来高の多さにそれほどこだわる 必要はありません。

オプションは多数の権利行使価格・満期の組み合わせが存在するなど、銘柄数が膨大であり、流動性があっても銘柄の日々の出来高が高くないことがあります。出来高が少なくても、常時気配値が提示され低コストで取引可能なオプション銘柄も多くあります。

建玉の多さや同じ原資産の他の権利行使価格・満期の流動性などを参照するなどして、潜在的な流動性を推し量ることができます。また、第8条の原則のとおり、マーケットメイカーが気配を提示している銘柄をチェックして、取引するオプションを決めることが考えられます。

MEMO

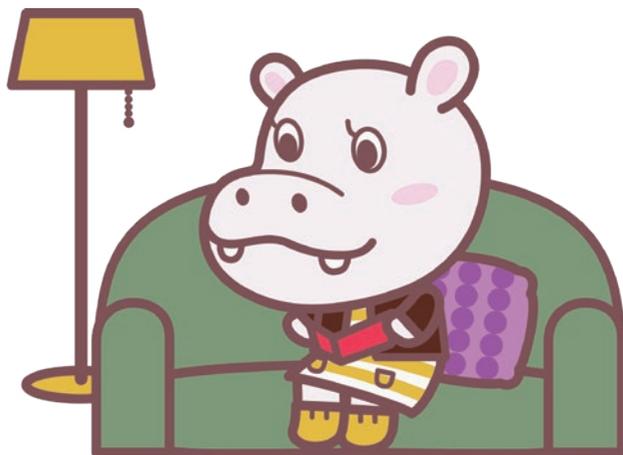


10

最大損失を考慮して適切な取引サイズを心がけましょう。

オプションの買い取引の場合は、最大損失は支払ったオプションに限定されますが、逆に言うと支払ったオプション料がゼロになるリスクがあるということです。オプションを使ったレバレッジ取引には、全額失っても良い資金に限り投資しましょう。

オプション売り取引では最大損失が大きくなる場合があります。例えばプットの売却では株価が急落した場合には最大で【権利行使価格】×【オプション数】×【取引単位】が最大損失になり得ることを、心得て利回り向上を目指しましょう。



「～たら、～れば」の相場観を用いた 利回り向上戦略を通して、 オプション売り戦略の本質を理解しましょう。

投資家の多くは、「この会社好きだから株を買いたいんだけど、現株価では買いたくないなあ。〇〇円まで下がったら、割安だから買ってもしよと思うのになあ」とか、「自分が保有している株価は、現値では売りたいくないけれど、〇〇円まで上がれば売却しても良いのになあ」と考えるケースが少なくないようです。

このような相場観を用いた投資戦略として、一般的に「株価がXX円まで下がったら株を買ってもよい=プット売りが有効」、「株価がXX円まで上がったら株を売ってもよい=コール売りが有効」と覚えましょう。具体的には、

● XX円権利行使価格のプットの売り戦略:

「XX円まで下がったら株を買ってもよい」株について、価格下落を待つ間、オプション料を受けとり、ポートフォリオの利回り向上ができる。もし、満期時に実際に株価が権利行使価格より下まで下がっていたら、プットの売り手は(時価よりも高い)XX円で株を買うことになるが、もともとXX円まで下がったら買ってもしよと考えていたのだから、構わないとする。もし株価が下がらなかつたらプットオプションは権利行使されず、売り手はオプション売却代金が収入になる(利回り向上)。

● XX円権利行使価格のコールの売り戦略:

「XX円まで上がったら株を売ってもよい」株について、価格上昇を待つ間、プレミアムを受けとり、ポートフォリオの利回り向上ができる。もし、満期時に実際に株価が権利行使価格より上がったなら、コールの売り手は(時価よりも安い)XX円で株を売ることになるが、XX円まで上がったら売っても良いと考えていたのだから構わないとする。もし、株価が上がらなかつたらコールオプションは行使されず、売り手はオプション売却代金が収入になる(利回り向上)。

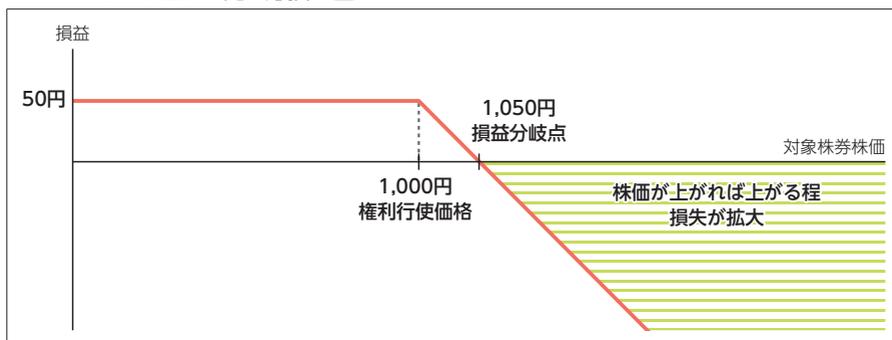
上記の戦略は株価変動のリスクをとりながらも、オプションの価値が日々時間減衰することを味方につけた利回り向上戦略として考えることができます。



下図は、権利行使価格が1,000円でオプション料が50円のコールオプションとプットオプションの損益図です。図を見るとわかりますように、コールオプションの場合は、対象株券の株価が上がるにつれて損失が拡大します。一方、プットオプションは、対象株券の株価が下がるにつれて、損失が拡大します。

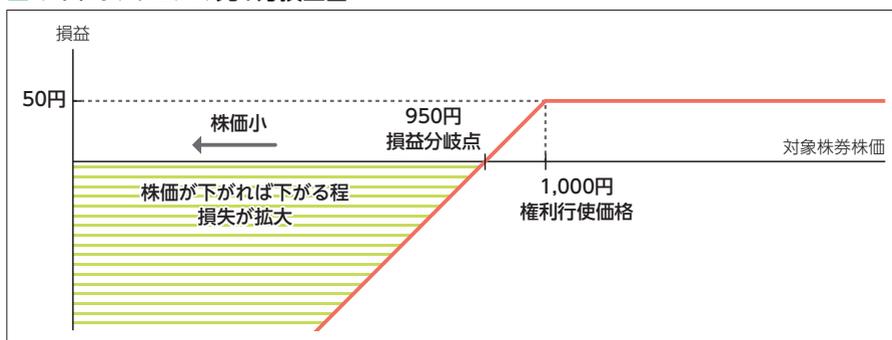
いずれの売り戦略も損失が限定されないことに留意する必要があります。よって、第12・13条の戦略をとることが実践的です。

■ コールオプションの売り方損益図



※手数料、税金等は考慮していません。

■ プットオプションの売り方損益図



※手数料、税金等は考慮していません。



12

**ターゲットバイ(プットオプション売り)戦略は、
株価が急落した場合に損失を被る、というリスクを
受け入れたもとの、大きな高利回りが期待できる
投資手法であることを理解、活用しましょう。**

現在の株価では買わないが、もし株価が権利行使価格のレベルまで下落したら、そのレベルで買ってよいかと考えるときに利用され、株価が権利行使価格まで下落しなかった場合はオプション売却代金を収入として得られます。株価は大きくは下がらないであろうという相場観を持ちつつ高利回りを追求する投資家にとって有効な手法です。



コールオプション売り戦略を用いて あなたの塩漬け銘柄でも投資利回り向上が 目指せます。

現在保有している株を現在の株価では売れないが、もし株価がXX円のレベルまで上昇したら、そのレベルで売ってもよいと考えるときに利用され、株価が権利行使価格まで上昇しなかった場合はオプション売却代金を収入として得られます。

投資家は利回り向上を図るため、コールオプションの権利行使価格はPER、PBRや他のテクニカル指標などにに基づき、このレベルなら株を売っても良いという、投資家にとっての売却可能レベルに設定します。

この手法は株の買いポジションを持っている場合に多く使われます(つまり投資家は「株の買い+コールオプション売り」のセットのポジションを持つことになります=カバードコール戦略と呼びます。)

<ご参考>カバードコール取引の詳細はコチラ

- 投資家必見「高い収益性を実現するために、かぶオプを使った「カバードコール戦略」動画



北浜投資塾>TOP>動画一覧>かぶオプ入門_①カバードコール



14

オプションの買い(レバレッジ戦略)と 売り(利回り戦略)をうまく使い分けましょう。

株価が動きそうな予感がする「いざ」というときにはオプション買いでレバレッジをかけ、株価が当面動く材料がなさそうなどときには、オプション売りで利回り向上を目指す、などの使い分けを心がけましょう。

特にオプション売り戦略は、1銘柄あたりの取引サイズを大きくしすぎず、粛々と継続的に売却するのが高利回り運用を安定化させるコツのようです。



● オプション買いが成功した例

2016/11/9に日経225ETFコールオプション(16年12月行使価格18,500円)を13.1円で購入したと仮定すると、11/10以降、米国大統領選挙に影響された大幅な市場の反発により株価上昇に拍車がかかり、11/25にはコールが536.8円まで上昇し5,237円(523.7円×10株単位)、約400%のリターンを記録しました。

※手数料、税金等は考慮していません。

	2016/11/9
日経225ETF(1330)	16,750
225ETFコールオプション(清算値) (16年12月行使価格18,500円)	13.1



	2016/11/25
日経225ETF(1330)	18,910
225ETFコールオプション(清算値) (16年12月行使価格18,500円)	536.8

● オプション売りが成功した例

2016/6/8に日経225ETFコールオプション(16年7月行使価格16,000円)を1,316.4円で売却したと仮定すると、その後英国のEU脱退(Brexit)が決まった影響で、株価が大きく動いたことで6/24には161.2円まで下落して、11,552円(1,155.2円×10株単位)の収益を確保できました。

※手数料、税金等は考慮していません。

	2016/6/8
日経225ETF(1330)	17,440
225ETFコールオプション(清算値) (16年7月行使価格16,000円)	1,316.4



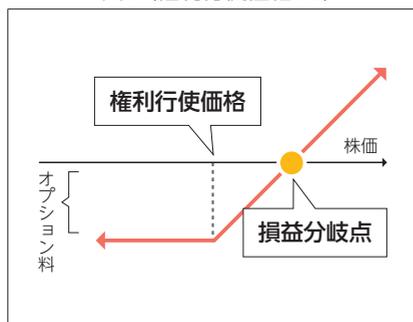
	2016/6/24
日経225ETF(1330)	15,460
225ETFコールオプション(清算値) (16年7月行使価格16,000円)	161.2



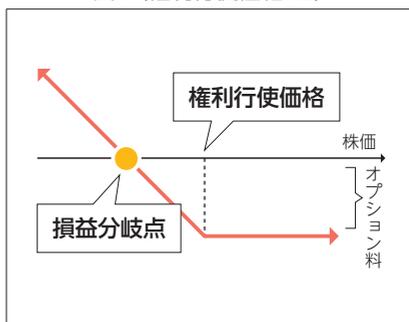
「上か下か分からないけれどとにかく動きそう だ」と思ったときは「ストラドル買い」戦略を検討 しましょう。

ストラドル買い(ロング・ストラドル)とは同じ権利行使価格(主にATM付近の権利行使価格が使用されますが)のコールオプションとプットオプションを同時に購入することです。コールとプットの両方を買うことによって株価が上下のどちらにでも大幅に動いた場合に、収益を出すことができます。逆に株があまり変動しなかった場合はオプション料までの損失が出ることもあり得ます。この手法は決算前など何か大きなイベントが出る前に利用することを検討しましょう。

■ コール買い(権利行使価格S1)

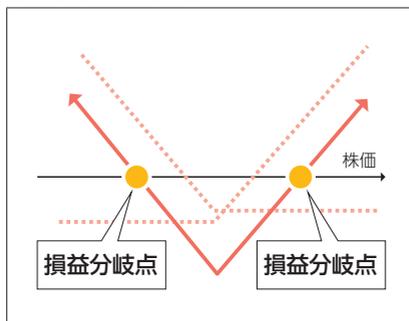


■ プット買い(権利行使価格S2)



ただし、 $S1 = S2$

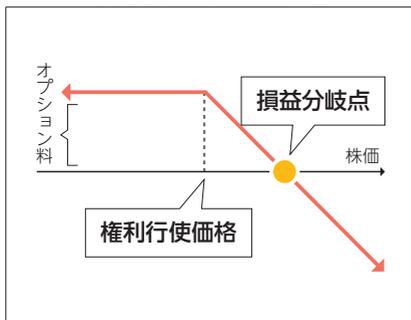
■ ロング・ストラドル



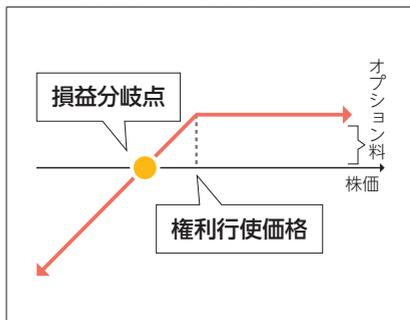
逆に「上にも下にも暫く動かなそう」ならば
「ストラドル売り」戦略を検討しましょう。
満期時点での損益分岐点がどこかも
配慮すると良いでしょう。

ストラドル売り(ショート・ストラドル)とは同じ権利行使価格(主にATM付近の権利行使価格が使用されますが)のコールオプションとプットオプションを同時に売却することです。コールとプットの両方を売ることによって株価が満期までにあまり変動しなかった場合に、最大プレミアム分までの収益を出すことができます。この手法は決算後、お盆休みや年末など、しばらく株価が動かなさそうな相場の際に利用することを検討しましょう。

■ コール売り(権利行使価格S1)



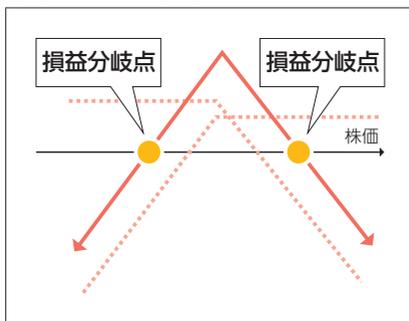
■ プット売り(権利行使価格S2)



+

ただし、 $S1=S2$

■ ショート・ストラドル



株が動くと思ってもオプションを買わない方が良いときを把握しましょう： オプション価格の簡易チェック法

例えば、株価が上がると思っても一概にコールオプションを買うべきとは限らないことがあります。コールオプションのオプション料が非常に高く取引されている可能性があるからです。

最も大事なのは、先に第8条で御紹介したように取引コストが低い銘柄を選ぶことです。取引所でのオプションの価格形成は効率的(買い手も売り手も存在する)で、たいい場合はオプション価格が不当に高すぎるなどの心配はありません。

ただし、自分で取引しようと思うオプションの価格が妥当なのかをチェックする簡便法として以下の3つの手法を覚えておくと便利です。

- ① 満期時点での損益分岐点を考えて、自分の相場観が当たったら本当に権利行使価格に到達するかを再考しましょう。
- ② オプションのインプライドボラティリティが、直近の当該銘柄のヒストリカルボラティリティを大きく(例えば2割以上)上回っている場合は、オプション料が高いと考えるきっかけにしましょう。
- ③ オプションのインプライドボラティリティの数値(株価の予想変動率の年率換算値)を16で割ることにより、日率変動率を把握、果たして本当に日々そのような株価変動が起こりそうなのかを再考しましょう。

「デルタ」に着目してあなたのオプション取引の勝率を把握しましょう。

第4条で触れた「デルタ(%)」という指標は、株価が上下に等確率で動くという仮定では、当該オプションがインザマネー(権利行使価格に到達する)確率に近くなる性質があります。例えばコールオプションを買うときには、何%くらいの可能性でオプションがインザマネーになるような取引をしているのかを把握するためにデルタを参照します。

またオプションを売って利回り向上を目指す取引をする際には $[100 - \text{デルタ}]$ %の可能性でオプションから損失が出ることが予想できます。デルタの大きさを鑑みて、自分の取引の確率論的な勝率を把握、判断に活用しましょう。



「かぶオプチャート」を用いて、実際に取引する前に研究しましょう。

● かぶオプチャート(<http://www.option-info.net>)

IV 上昇率ランキング、IV 下降率ランキングを毎日更新しています。

過去のHVやIV、清算値段のデータを取得したり、CSVファイルでダウンロードできるようになっていますので、ご活用ください。

日本取引所グループ JPX 大証取引所		かぶオプチャート Option Chart (Individual Options)		2017年02月24日更新			
IVランキング (IV Ranking)							
IV上昇率ランキング (Implied Volatilities Increase Rate Ranking)							
順位 (Ranking)	コード (Code)	銘柄名	Underlying Securities	IV	IV前日比 (Change)	株価時価(Last Price)	株価前日比 (Change)
1	1330	上場インデックスファンド225	LISTED INDEX FUND 225	14.5%	+1.7%	19,840	-0.4%
2	3382	セブン&アイ・ホールディングス	SEVEN & I HOLDINGS	20.0%	+0.1%	4,386	-1.4%
3	6502	東芝	TOSHIBA	47.0%	±0.0%	223.9	+4.1%
3	7974	任天堂	NINTENDO	34.8%	±0.0%	23,715	+2.2%
3	9503	関西電力	THE KANSAI ELECTRIC POWER	24.1%	±0.0%	1,262.5	+1.1%
IV下降率ランキング (Implied Volatilities Decrease Rate Ranking)							
順位 (Ranking)	コード (Code)	銘柄名	Underlying Securities	IV	IV前日比 (Change)	株価時価(Last Price)	株価前日比 (Change)
1	4502	武田薬品工業	TAKEDA CHEMICAL INDUSTRIES	14.5%	-17.8%	5,349	+0.2%
2	8058	三菱商事	MITSUBISHI	20.4%	-6.3%	2,573.5	-1.7%
3	7751	キヤノン	CANON	15.4%	-5.7%	3,309	+0.6%
4	4063	信越化学工業	SHIN-ETSU CHEMICAL	22.3%	-4.7%	9,754	-1.3%
4	9020	東日本旅客鉄道	EAST JAPAN RAILWAY	19.0%	-4.7%	10,200	-0.3%
IVランキング (Implied Volatilities Ranking)							
順位 (Ranking)	コード (Code)	銘柄名	Underlying Securities	IV	IV前日比(Change)	株価時価(Last Price)	株価前日比 (Change)
1	6502	東芝	TOSHIBA	47.0%	±0.0%	223.9	+4.1%
2	7974	任天堂	NINTENDO	34.8%	±0.0%	23,715	+2.2%
3	8604	野村ホールディングス	NOMURA HOLDINGS	29.9%	-1.4%	736.5	-0.3%
4	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	MITSUBISHI UFJ FINANCIAL GROUP	27.6%	-3.7%	758.4	-0.8%
5	9984	ソフトバンクグループ	SOFTBANK GROUP CORP	27.5%	-1.9%	8,600	+0.5%

※各原典量における、直近毎月・ATMに係るオプションのI.V.についてランキング



銘柄コードから①銘柄を選択し、②「検索開始」ボタンを押して頂くだけで、期近銘柄の清算値段と原資産価格のチャートを確認できます。期間指定や他限月を別途指定すれば当該チャートが確認できます。

①

カホオチャート (Option Chart)

銘柄コード (Code)	銘柄名	Underlying Securities
7751	キヤノン	CANON

From	Year 2016	Month 11	Day 01	期間指定(Set a period) From: 2015/02/25
To	Year 2017	Month 02	Day 24	

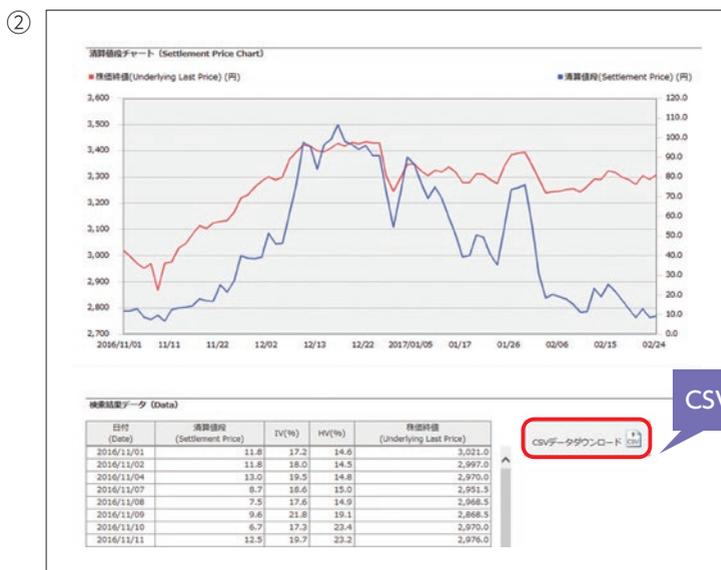
限月(Contract Month) 2017/03(期近)

Call / Put Call Put

権利行使価格(Strike Price) ATM(3,400)

データ選択(Price or Volatility) 清算値段(Settlement Price) HV, IV

検索開始(Search) リセット(Reset)



かぶオプに関する情報収集に努めましょう。

大阪取引所などを中心にインターネット上に多くの基礎を学ぶ資料が存在します。インターネットの検索サイトで「かぶオプ」、「@kabu_op」、「かぶオプチャート」などのキーワードを調べてみましょう。

● かば子 Twitter (@kabu_op)



● 北浜投資塾「かぶオプ」で検索

かぶオプについて、やさしく楽しく学べる専用サイトです。動画やコラムもあります。どうぞご覧ください。



免責事項

本資料は、オプション取引に関する概要・市場状況等の説明のみを目的としたもので、オプション取引の勧誘を目的としているものではありません。なお、オプション取引においては、各商品の価格の変動等により損失が生ずるおそれがあります。オプション取引の利用においては、取引金額が顧客の差入れる証拠金の額に比べて大きい場合、差入れた証拠金以上の損失が生ずるおそれがあります。相場の変動等により証拠金額に不足が生じた場合には追加差入れが必要となります。オプション取引を行うに際しては、あらかじめ取引先の金融商品取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、手数料及びリスクの存在等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で行っていただきますようお願い申し上げます。

かぶオプ取引のコツ 20か条

編集・発行 株式会社 大阪取引所

